

株式会社 木彫前田工房

地車彫刻の技を受け継ぎ
木製品やアートも製作

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



屋台彫刻「八岐大蛇退治」

主な事業内容

地車、神輿の彫刻、
ホテル調度品などの製作

主な取引先(納入先)

工務店、ホテル、一般消費者

主な製品

彫刻、調度品、木製品

業務
内容
限りある空間に躍動感
あふれる世界を構築

木彫前田工房は、大阪府南部のだんじり祭りや曳き廻される地車を飾る彫刻を主に製作している。地車をイチから作り直す新調となれば、地車本体の前後や側面のほか、屋根や柱の周辺に取り付ける数百パーツにも及ぶ彫刻を手作業で生み出していく。地車の限られた空間に人物や動物、植物などを巧みに配置し、躍動感ある物語世界を構築している。

前田暁彦社長は、21歳で地車彫刻の道に入り、平成20年に独立した。大阪府堺市・長承寺などの地車新調の際には彫物責任者を務めたほか、彫刻作品が国際美術展で優秀賞に輝くなど彫刻家としても活躍中である。

強み
イメージ力を駆使して
地域の伝承を造形化

地車彫刻の題材には、源平合戦などの軍記物や神話が多く取り上げられる。題材は地域の自治会が決めるが、前田社長は「なぜその題材を選ぶのか、地域の人たちの希望や思いを汲み取ったうえで形にするのを得意としている」と話す。さらに、各地域に伝わる伝承を文献などから掘り起こし、題材にする

ことも多いという。「文字だけで下絵を起すことができるイメージ力が強み」という。

令和4年秋には、画像データにもとづいて木材を立体加工できるNCルータを導入した。地車彫刻の一部部材加工を機械化していくほか、企業向けノベルティグッズの製作などにも活用する。

技術
継承
彫り師の系譜を
絶やさないために会社設立

令和3年に、大阪市内へと拠点を移し、同時に木彫前田工房を法人化した。前田社長は「人材を集め、後継者を育てないと技術は後世に残らない。若い人が安心して彫り師を志望できるように会社を立ち上げた」と思いを語る。さらに、「孫弟子の世代まで考えたら100年企業をめざさなければならぬ」と続ける。移転後は、ホテルの調度品や土産用の木製品、ゲーム会社とのコラボレーションによる木彫作品の製作を引き受けるなど、地車彫刻以外の仕事も増えている。「今後は日本の伝統工芸をアピールするためにも生活用品やアート作品で海外市場を開拓したい」と前田社長。木彫の可能性を広げようと前進し続ける。

社長あいさつ

代表取締役
前田 暁彦さん

顧客の要望にお応えするのはもちろん、「前田にやってもらってよかった」と言ってもらえるような彫り師になろうと精進を重ねてきました。今後は、私が生まれ育った大阪府南部のだんじり彫刻という素晴らしい文化と技術を、日本のみならず世界に広げていきたいと思っています。

主な保有設備

- NCルータ ME-650ST
ミマキエンジニアリング製 1台
- バンドソー
14BX220-250
LAGUNA製 1台
- 自動カンナ DW735
DEWALT製 1台
- 手押しカンナ
MH203YKS
SpokeShave製 1台

大阪
04

住 所／〒530-0041
大阪市北区天神橋1-14-5
丸宮ビル303

T E L／06-6314-6697

F A X／06-6314-6698

創 業／平成20年5月

設 立／令和3年1月

資本金／100万円

従業員／2名



エキシビジョン用縁緑彫刻



三日月神輿(左)と地車(右)



<https://kiborimaedakoubou.com/>